



P A N O R A M A V I E W F U K U S H I M A

四季變化 福島





春

SPRING

淡いピンクの山々に誘われて
心も足取りも軽くなる



小倉寺(大蔵寺) 観音の桜

千手観音(国重要文化財)を有し、樹齢300年と伝わるしだれ桜や、稚児桜などが美しく咲き誇ります。
[Map : D-3]



荒川桜づつみ公園

荒川沿いに並ぶ200本を超える桜が一斉に咲く様は、さながら“桜の回廊”のよう。
[Map : C-2]

花見山

写真家の故秋山庄太郎氏が「桃源郷」と絶賛した、福島を代表する花の名所。春には梅、桜、レンギョウ、モクレン、ハナモモと次々に咲き、山全体がほんのりピンクに色づきます。遠くに望む吾妻山の残雪とのコントラストが美しく、20万人を超える観光客が訪れています。
[Map : D-2]



春

SPRING

「ふくしまに春が来たよ！」
山肌のうさぎから届いたうれしい知らせ



雪の回廊

4月上旬の磐梯吾妻スカイラインでは、雪の回廊を縫うように走るドライブが楽しめます。麓の花々と一度に二つの春が楽しめるのも、この時期ならではの。📍



桃の花と雪うさぎ

桜の花が終わりを告げる頃になると、山は雪解けが進み「種まきうさぎ」の別名をもつ雪型が姿を現します。麓では桃の花が一斉に咲き始め、まるで春の訪れを喜んでいるかのようです。📍 [市道鳥川～大笹生線沿いより]

菜の花と吾妻連峰

手前に菜の花、奥には桃と梨の畑が広がり、黄色・ピンク・白の花の競演が楽しめるのもほんのわずかな期間だけです。

※菜の花は栽培しない年もあります。

📍 [飯坂町東湯野地区より]



春

SPRING

決して華やかではないけれど
心に残る風景がここにはある



仁田沼水芭蕉

4月下旬から5月上旬にかけ、約10万株が咲く一大群生地。男沼～仁田沼～女沼を巡る自然探勝路が整備され、同じ頃カタクリやツツジを愛することも出来ます。

[Map : B-3]



水原のクマガイソウ

絶滅危惧種の野生ランの一種が自生する水原地区。見頃の5月中旬から下旬には一般公開され、辺り一面が約8,000株の花で埋め尽くされます。

[Map : C-4]

新緑と種まきうさぎ

5月の声を聞く頃になると、あちこちで田植えが始まります。緑が色濃くなるこの時期には雪うさぎも次第にその姿を小さくし、足早に初夏へと向かっていきます。

⑥ [フルーツライン・土船地区より]



民家園のアヤメ

江戸時代～明治初期の旧家や芝居小屋などを移築復元した園内では、5月下旬～6月上旬にかけて池の周りにアヤメが咲き、周囲の風景と調和した雰囲気醸し出しています。

[Map : B-3]



上野寺地区の藤

5月上旬になると、樹齢30年以上、長さ1.5mを超える約150坪の藤棚が広がり、その美しさに訪れた人々が心を奪われてしまうほど。

[Map : C-2]

MODEL COURSE

春の福島を楽しむコース

磐梯吾妻スカイライン雪の回廊——花見山——花の写真館——フルーツライン（果物の花）——四季の里



吾妻小富士空撮

磐梯吾妻スカイライン浄土平からは、桶沼、鎌沼、五色沼などを指すトレッキングコースが整備されています。約20分の手軽なコースから、3時間の本格コースまで、雄大な自然を満喫しながらのトレッキングが楽しめます。 [Map : A-3]



磐梯吾妻スカイラインと吾妻小富士

火山の噴火によりできた標高1707mの吾妻小富士。コニーデ型の火口の周囲約1.5kmは、浄土平駐車場から往復約1時間ほどで回ることができます。 [Map : A-3]



ワタスゲ

浄土平周辺は高山植物の宝庫。ワタスゲ、チングルマ、イワツツジなど、初夏から秋にかけて様々な花が、訪れる人々を迎えてくれます。

五色沼

「魔女の瞳」の別名の通り、光の加減によって刻々と水面の色を変えるのが特徴。一切経山から見下ろすその姿は、何度見ても感動を与えてくれます。 [Map : A-2]

夏 SUMMER

青い空、白い雲、そして緑の山々
福島を独り占めする贅沢な時間

MODEL COURSE

夏の福島を楽しむコース

磐梯吾妻スカイライン（魔女の瞳・高山植物）——道の駅つちゆ（こんにゃくアイス）——土合館公園のあじさい



夏

SUMMER

水面に映る緑や可憐に咲く花々は
歩き疲れた体を癒してくれる最高のごほうび



とあいだて
土合館公園のあじさい

「あじさい公園」の別名を持ち、約5haの園内に咲く4,300株のアジサイが、梅雨空を色鮮やかに彩ります。 [Map: D-4]



なめたき
滑滝

国道399号と併走するように流れる摺上渓谷上流にあり、夏になると子ども達に人気の水遊びスポットとして、多くの人が訪れます。 [Map: B-1]

すりかみ
摺上川ダム周辺

平成17年に竣工した「茂庭っ湖」周辺には、温泉やキャンプ場、手打ちそばを提供する食事処などが整備され、新しい観光スポットとして注目を集めています。

[Map: B-1]



秋

AUTUMN

一面に広がる赤や黄色のじゅうたんは
心のアルバムに残しておきたい名場面



天狗の庭（磐梯吾妻スカイライン）

山間を縫うように走る観光有料道路・磐梯吾妻スカイラインは、紅葉の名所としても有名です。吾妻八景の一つ「天狗の庭」は、天狗が舞い遊んだという故事にちなんでつけられた名所で、燃えるように色づいた木々が斜面に広がります。 [Map：A-2]

不動沢橋（磐梯吾妻スカイライン）

84mのつばくろ谷の底を見下ろす長さ170mの橋周辺は、紅葉のビューポイントの一つ。橋のたもとにあるレストハウスに車を止めれば、福島街並みを一望できます。





秋

AUTUMN

カサカサとささやく落ち葉を踏みしめながら秋の訪れを全身で感じて



しのぶもぢずり
信夫文知摺

源 融と虎女の悲恋物語に由来する文知摺石が残る文学の里。奥の細道でここを訪れた芭蕉も「早苗とる 手もとや昔 しのぶずり」の句を残しています。

[Map : D-2]

くろいわこくぞうせん
黒岩虚空蔵尊

十六羅漢やなで丑、いぼなし鐘などを有し、丑寅の神様として有名な虚空蔵尊。境内から見下ろす阿武隈川の流れと真っ赤な紅葉のコントラストは、この時期ならではの美しさです。 [Map : D-3]

MODEL COURSE

秋の福島を楽しむコース

磐梯吾妻スカイライン紅葉——フルーツラインくだもの狩り（なし・ぶどう）——信夫山散策——信夫文知摺紅葉



冬

WINTER

遠くで白鳥の声が聞こえてくると
山々は白く衣替えを始める



雪の信夫文知摺

落ち葉のじゅうたんが真っ白に衣替えをする冬。
キュッキュッと新雪を踏みしめながら歩けば、文人
たちの思いが伝わってくるようです。[Map: D-2]

あぶくま親水公園の白鳥

毎年10月頃になると、4,000kmを旅してやっ
てくる冬の使者。白鳥の間近まで行くことができ
るこの親水公園は、楽しそうにえさを与える人々
でにぎわっています。 [Map: D-2]

MODEL COURSE

冬の福島を楽しむコース

あぶくま親水公園——県立美術館——
花の写真館——御倉邸——ふれあい歴
史館



ももの花



花も実もある福島市

FRUITS

もぎたて・新鮮な果実が食べ放題
果物狩りで福島の幸をいただきます！



なし畑



さくらんぼ

大粒で甘い佐藤錦など、果肉がしまって粒が揃ったさくらんぼ（おうとう）は、「赤い宝石」とも呼ばれ、贈答用としても人気があります。

ブルーベリー

眼に良いとされるアントシアニンや食物繊維などを豊富に含み、近年注目されている果物です。福島県内でも栽培面積が年々増え、全国7位を誇っています。

もも

全国第2位の生産高を誇る、福島の夏を代表する果物。甘くてジューシーなあかつき、福島県生まれの新品種・ふくえくぼ、なめらかな触感のゆうぞらなど、もぎたてのおいしさをご賞味ください。

なし

福島市は、日本梨の生産高全国第1位！ 赤梨を代表する幸水・豊水や、酸味と甘みが調和した青梨の二十世紀など、そのおいしさは全国的に知られています。

ぶどう

高級ぶどうの代名詞巨峰や、種なしの高尾、福島県生まれのあづましずくなど、たわわに実ったぶどうは、晩夏から秋にかけて楽しめます。

りんご

太陽の光をいっぱい浴びた無袋栽培で栽培された福島のりんごは、果汁が豊富で完熟すると蜜が入るふじを筆頭に、甘くて濃厚な味わいが楽しめます。

フルーツカレンダー Fruits Calendar

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
さくらんぼ	佐藤錦	■						
ブルーベリー			■	■				
もも	暁星		■					
	あかつき			■				
	川中島白桃				■			
	ゆうぞら				■			
なし	黄金桃・黄貴妃				■			
	幸水				■			
	豊水					■		
	二十世紀					■		
ぶどう	新高					■		
	ラ・フランス						■	
	巨峰						■	
	高尾					■		
りんご	ピオーネ				■			
	ネオマスカット				■			
	つがる				■			
	陽光						■	
りんご	王林						■	
	ふじ							■



りんごの花



フルーツライン



飯坂温泉

奥州三名湯の一つに数えられる
福島の奥座敷



館ノ山 花桃の里 [Map: C-1]



奥の細道で松尾芭蕉も立ち寄った名湯は、二世紀頃日本武尊が東征の折に入浴したと伝えられる、歴史ある温泉。鱒湖湯など9つの共同浴場と2つの足湯があり、手軽に湯めぐりが楽しめます。 [Map: D-1]

足湯「ちゃんこちゃんこの湯」



鱒湖湯

土湯温泉

こけしの里として知られる
溪流沿いの温泉郷



滝のつり橋



おぬま男沼 [Map: B-3]



土湯峠温泉郷 [Map: A-4]
(野地・新野地・鷲倉・幕川・新幕川)



13種類の泉質と豊富な湯量を誇り、1400年以上前に発見されたと伝えられる聖徳太子ゆかりの温泉。周辺にはヒメサユリや水芭蕉など花の見所も多いほか、こけしの里としても知られ、毎年こけしまつりが開かれています。 [Map: B-3]

高湯温泉

薬効成分の高い
400年の歴史を有する湯の里



ぬるゆ微温湯温泉 [Map: A-3]



山間にたたずむ奥州三高湯温泉の一つで、薬効高い白いお湯と源泉掛け流しを楽しめる秘湯です。皮膚病、婦人病、アトピー性皮膚炎などに効果があるとされ、湯治客も多く訪れています。 [Map: B-2]



信夫温泉 [Map: B-2]



岳温泉

全国でも数少ない
酸性泉のお湯が湧く温泉

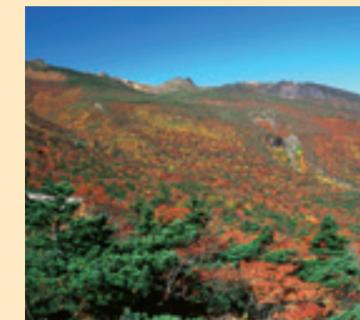


鏡ヶ池



高村智恵子が智恵子抄で詠んだ「ほんとうの空」の麓に湧く温泉。約1200年前に開いたとされる名湯は神経痛、胃腸病、冷え症などに効果があるとされ、あの水戸公園も訪れたと言われています。 [Map: B-4]

安達太良山



あだたらエクスプレス



祭り

一年で最も熱くなる祭りの日
故郷を離れた友の笑顔が集まる



信夫三山暁まいり

[2月10日～11日]
重さ2tもの大わらじを担ぎ、
一年の五穀豊穡を祈願する

江戸時代から続く伝統ある祭で、長さ12m、幅1.4mの日本一の大わらじを担ぎ市内を練り歩いた後、信夫山の羽黒神社へ奉納します。五穀豊穡、家内安全、身体強健などを祈願するほか、3年続けてお参りすると結ばれるという言い伝えから、若い男女の姿も多く見られます。



福島わらじまつり

[8月第1金・土]
踊り手も観客も熱くなる、
夏の福島を盛り上げる祭り

浴衣やおび姿の男女が平成わらじ音頭にあわせて華やかに踊る流し踊り、ヒップホップのリズムにのせて練り広げられるダンシングソーダナイト、大わらじや山車を引いてタイムを競うわらじ競走と、福島の夜は熱く過ぎていきます。



飯坂けんか祭り

[10月第1金・土・日]
太鼓台が激しくぶつかり合う、
日本三大けんか祭りの一つ

岸和田の「地車祭り」、角館の「飾山ばやし」とともに、日本三大けんか祭りの一つと呼ばれる勇壮な祭り。大勢の若者連に担がれた6台の太鼓屋台が激しくぶつかり合う盛りで、祭りはクライマックスを迎えます。

味

伝統の味や新しい名物料理
人々のあったかさや心のこもった自慢の味



凍豆腐 立子山地区で生産される、鉄分やカルシウム、ビタミンEなどを豊富に含んだヘルシーな食材。農家の軒下に並ぶ凍豆腐のカーテンは、冬の風物詩ともなっています。



餃子 福島市の隠れた名物・餃子。皮はカリッと具はジューシー、そして大皿に円盤形に盛りつけられたのが特徴です。平成15年に「ふくしま餃子の会」が設立され、福島の餃子をPRしています。

ラジウム卵

日本で初めてラジウム泉が発見された飯坂温泉。このラジウム源泉で30分～1時間ゆたたらジウム卵は、滋養によいとされ飯坂温泉のおみやげとして人気があります。



ゆず製品

ゆず産地の北限として知られる福島市では、ゆずまんじゅう、ゆずみそ、ゆず鮎、柚子切そばなどのほか、ゆずを使った料理を提供している飲食店もあります。

こんにゃく

荒井地区で生産されるこんにゃく芋と吾妻の名水を使う、かぼちゃ、豆乳、ゆずなど、一品一品手作りで作ったこんにゃくは、お土産としても人気です。



いかにしん

スルメとニンジンを細切りにし、醤油、日本酒、みりんなどで味付けした福島の郷土料理。正月料理には欠かせない一品です。松前漬のルーツとなったとも言われています。

地酒

100年以上の歴史を持つ蔵元が、泉産米を昔ながらの技法で仕込んだ香り高く飲み口よい純米酒は、全国新酒鑑評会で高い評価を受けています。



街中散歩

ゆっくり・のんびり街歩きを楽しめば
新たな福島の魅力を発見できるかも



福島県立美術館

信夫山の麓にあり、白河市出身の画家・関根正二や、会津坂下町出身の版画家・斎藤清など福島県出身作家の作品をはじめ、ペロ・シャーン、アンドリュー・ワイエスといった、20世紀アメリカの具象絵画作品ほか1,600点以上を収蔵しています。



御倉邸

県庁裏手の阿武隈川沿いにある、旧日本銀行福島支店長役宅。瓦葺平屋の住宅は、豊廊下や手づくりガラスなど、昔ながらの懐かしい雰囲気は今に残っています。



ふくしま屋台村 ころんしょ横丁

地元の食材にこだわったメニューを提供する、9つの個性豊かな屋台が勢揃いしてまちなかに賑わいを呼んでいます。

花の写真館

写真家の故郷山庄太郎氏から寄贈された作品などを展示。涼風の天井や屏のレリーフなど、大正ロマンあふれる石造りの建物（市有形文化財）は一見の価値あり。



古関裕而記念館

福島市出身の作曲家古関裕而は、「栄光は君に輝く」「オリンピックマーチ」など5,000曲にも及ぶ名曲を残しています。名曲「とんがり帽子」を彷彿させる記念館では、愛用のハモンドオルガンや直筆の楽譜など、貴重な資料が展示されています。



A C C E S S

主要都市から福島市へのアクセス



- 仙台** → **福島**
 - 東北新幹線 約25分
 - 仙台南IC→福島西IC 約45分
(仙台空港から1時間10分)
- 東京** → **福島**
 - 東北新幹線 約1時間40分
 - 浦和IC→福島西IC 約2時間40分
- 大阪** → **福島**
 - 新大阪駅→福島駅 約4時間30分
 - 西宮IC→福島西IC 約9時間50分
 - 伊丹空港→福島空港 約1時間10分
(福島空港から1時間)

福島市観光物産協会

福島市五老内町3-1 (福島市役所内) TEL 024-525-3722
<http://www.f-kankou.jp/>

飯坂温泉観光協会

福島県福島市飯坂町十綱町3 TEL 024-542-4241
<http://www.iizaka.com/>

土湯温泉観光協会

福島県福島市土湯温泉町字上ノ町1 TEL 024-595-2217
<http://www.tcy.jp/>

高湯温泉観光協会

福島県福島市町庭坂字高湯 TEL 024-591-1125
<http://www.naf.co.jp/azumatakayu/welcome.stm>

岳温泉観光協会

福島県二本松市岳温泉 1-16 TEL 0243-24-2310
<http://www.naf.co.jp/dake/>

発行/福島商工会議所

〒960-8053 福島県福島市三河南町1-20
 コラッセふくしま 8階
 TEL 024-536-5511 / FAX 024-525-3566

表紙の写真

- 左上/松川の花桃 (松川町) **1**
- 左下/行人滝 (茂庭地区) [Map: B-1] ※摺上川ダムより徒歩
- 右上/イチョウ並木路 (あづま総合運動公園) [Map: B-3]
- 右下/吾妻山 (下野寺地区より) **2**

1 このマークは撮影ポイントを表しています

